

市長と語る会(令和4年8月3日)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	<p>業務で見守り活動を行っているが、業務の性質上、集合住宅にお住いの方の見守りが難しいことが課題であると感じている。</p>	<p>本当に生活に密着した視点で日頃活動していただいて、見守りもしていただいている。さらに私のほうからPRさせていただくと、車両にAEDも積んでいただいているので、地域でもし心臓など患われた方がいらっしゃったときにそれを使って蘇生していただくということにもご協力を頂いております。ご自身の業務だけでなく、地域の見守りにもご協力いただき、ありがとうございます。</p>
2	<p>今後、地域包括ケアが重要になるため、医師会などと協調しながら包括ケアと見守りネットワークを同時に考えていくことが合同であればよいと思う。</p>	<p>2025年になると団塊世代の皆さんが全員後期高齢者になりますので、医師や医薬品関係者を含め、地域のきずなが重要だと思っています。</p>
3	<p>お客様のポストに配達した商品がそのままである状況を地域包括支援センターに報告し、残念ながらその方が亡くなっていたことがあった。お客様でなくても、困っている方がいたら声掛けをするようにし、事業所内で連絡、共有をするようにしている。</p>	<p>孤立化が言われる中、配達した商品がそのままになっている等の情報を地域包括支援センターをはじめ、地域で共有できれば、助けることができる命をしっかりと助けることができることあらためて感じました。</p>
4	<p>宅配の荷物の状況から、気づきがあれば異変を捉える取組をしている。また、認知症の出前講座を行ったり、フードドライブに協力するなど、幅広い年齢の方々とつながる場を設けさせていただいている。</p>	<p>コロナのため、孤立して外に出たがらないという方、それからフェース・ツー・フェースが大事だということで外に積極的に出ようとする方と、二極化が進んでいるということ、フードパントリーなどを通じて本当に貧困の状態にある方がいらっしゃることを、これまでこの会の参加者の方にお話しいただいています。様々な活動にご協力いただき、ありがとうございます。</p>

No	意見	回答
5	<p>地域の見守り活動において、市民の方に届けたい情報があれば、協力して、営業中にチラシの投函をすることができる。また、年1回ほど見守り活動について市の方針を通知していただければ、わが社の活動を進めやすい。</p>	<p>時代の変化を企業の皆さんも捉えて、地域に入って社会貢献をしていくという連携が取れるようになってきたのですが、一方通行だったりお任せしたきりだったり、意思を十分には伝えきれていないこともあるかと思います。貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。</p>
6	<p>配送活動における熱中症等の見守り事例について、事業所において情報の共有をしている。異変を感じた場合は地域包括支援センターに連絡するようにしている。</p>	<p>高齢の方ほどエアコンはあまり好まないし、暑い中で1人で暮らしている方々の家の窓が開いていると対処に迷うことがあります。皆さんも対処に迷われることが多くあるのではないかと思います。ご対応いただきありがとうございます。</p>
7	<p>配送活動において異変を感じた場合は地域包括支援センターと連携し、安否確認をするようにしている。最近ではコロナ禍であり、対面でのお渡しに難しく、お宅の状況を確認することができない。また、事業者間において地域の情報共有をしているが、地域包括支援センターも交えた事例共有の機会があるとよい。</p>	<p>横の連携は非常に重要であると考えています。また、事業者の皆様で情報を共有していただき、ありがとうございます。</p>
8	<p>特に男性の高齢者は外に出たがらない人が多いので、学校に集まる機会を設けるなど、地域につながる場を設けることで、孤立化を防ぐことができるのではないかと。</p>	<p>文化センターが公民館と児童館と高齢者福祉館の3つの要素を持った複合施設になっており、11のエリアに分けたそれぞれの地域の活動の拠点としていろいろな施策を講じています。つながっておくこととしっかりと見守っておくことは大事なので、参考にさせていただきます。</p>
9	<p>配達の際などに、何か変だなというときにはすぐ声をかけるようにしている。救急の場合に対応するため、救急講習会を受けることも考えている。</p>	<p>情報交換をさせていただく中で、異変を感じた場合の連絡などの仕組みを構築していかなければならないと思います。</p>

No	意見	回答
10	見守りには近所の声掛けが重要であり、回覧板も大切だと思う。また、市役所が開庁していないときの連絡先の周知や、どのような場合に連絡すべきかのガイドラインがあるとわかりやすい。	回覧板については、ウイズコロナの中でいかに元に戻していくかということをして市としては考えていきたい。 【高齢者支援課より】 認知症のガイドラインを送付させていただいたので、共有してもらえればありがたいです。また、地域包括支援センターは24時間体制で連絡が可能となっており、夜間などの連絡先は、バックヤード向けのちらしを作っているの周知してもらえればありがたいです。
11	地域密着で事業を行っており、ふれあいを大切にしているが、最近は、関わりたがらない人がいる。また、自治会などで、若い方が地域に根付いて一緒に活動する仕組み作りが課題だと思う。	市としまして、自治会、町会、管理組合などの地域での活動を非常に大事にしており、市民協働推進部という地域でのつながりを大事にして協働でまちを作っていこうという部を随分前から立ち上げています。SNSなどをどんどん使っているいろいろなつながりを求めていく世代と、そういったことに非常に抵抗のある世代と、まだまだなかなかそこは1つにはなりにくいのですけれども、紙媒体と両方を駆使していかなければいけないなと思っています。
12	見守り活動において、異変があった際の連絡先を記載したカードなどを持っているとよいのではないかと。	社会全体として見守るためには、連絡先などを知っておくことは重要ですし、それらに関係者ではない人の目に触れるようにすることも大事だと思います。
13	業務上関わりのある医療機関に疾患啓発ポスターの掲示を依頼したり、AEDを設置していない施設に設置を進めるなど、間接的に地域の見守りに貢献していると考えている。	市も医師会などと市民の健康に関して連携しています。機会があれば、事業者の皆様からの情報を活用するように伝えたいと思います。
14	業務で地域の方が交流し、つながりを持てる場を設けている。その中で、市の歴史など府中の良さを伝えている。	市をPRしていただき、ありがとうございます。どこかで関わればその先いろいろなつながりの広さ、つながりの幅が出てくるのではないかと期待しています。皆さんから伝えていただくことで、まちへの愛着が生まれれば大変ありがたいです。

No	意見	回答
15	当社が持つ家庭から排出されるごみの情報などを福祉部門と情報共有することで、見守りに役立つのではないかと思う。	これまでもいろいろなつながりの中で対応していますが、完璧になっているかといったところではなくて、問題を解決することができたこともあるしできなかったこともあると思います。皆さんから頂いたご意見などを幅広くいろいろな方と共有していかなければいけないと思います。